

令和7年9月

反射材用品等着用推進モデル地区選定等による 令和7年度反射材用品等着用普及促進活動

第1回反射材用品等着用実態調査結果

福島県警察本部
交通部交通企画課

1 調査日

令和7年8月1日（金）から同年8月7日（木）の間

2 調査対象

調査場所を通行している歩行者（804人）

3 調査場所

モデル地区内のスーパー、コンビニエンスストア等商業施設やバス停留所、住宅街など、歩行者が通行する機会の多い任意の場所を選定の上、着用実態を調査した。

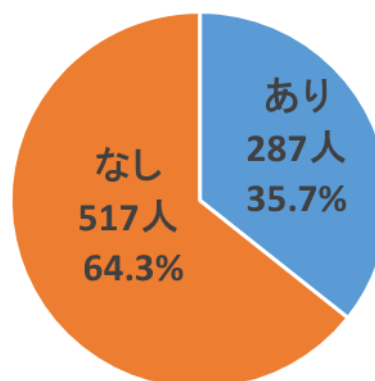
4 調査方法

歩行者の年齢を確認の上、目視により反射材用品等の着用の有無について調査した。
この調査結果では、高齢者は65歳以上の方、非高齢者は65歳未満の方を指す。

5 調査結果

(1) 全体の着用率

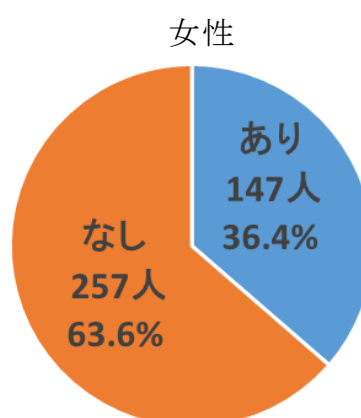
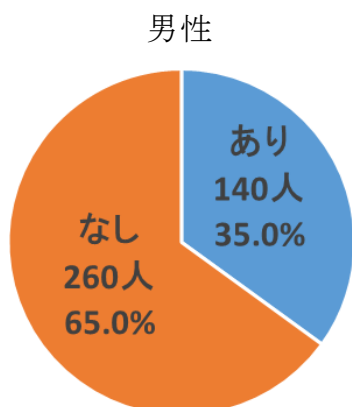
804人中287人着用
（着用率35.7%）



(2) 男女別着用率

○ 男性400人中140人着用（着用率35.0%）

○ 女性404人中147人着用（着用率36.4%）

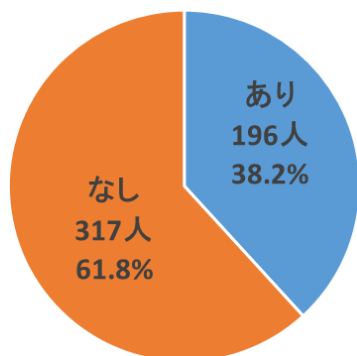


※ 特徴

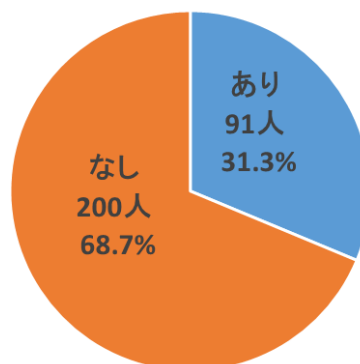
全体の着用率は、女性の着用率が男性より高い。
性別でみると男女とも着用率は約3割である。

(3) 高齢者・非高齢者別着用率

○ 高齢者513人中196人着用
(着用率38.2%)



○ 非高齢者291人中91人着用
(着用率31.3%)

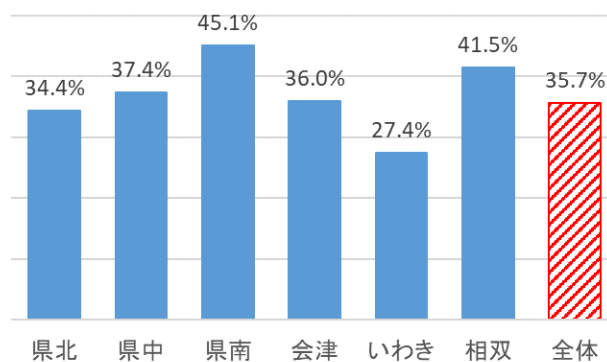


※ 特徴

高齢者の着用率が非高齢者より高い。

(4) 地域別着用率

地域	着用	非着用	着用率
県北	66	126	34.4%
県中	68	114	37.4%
県南	23	28	45.1%
会津	54	96	36.0%
いわき	37	98	27.4%
相双	39	55	41.5%
全体	287	517	35.7%



※ 特徴

着用率3割以上の地域が多いが、いわき方部は着用率2割。

(5) 警察署別着用率

警察署	着用	非着用	着用率	警察署	着用	非着用	着用率
福島	15	35	30.0%	会津若松	11	39	22.0%
川俣	6	14	30.0%	会津美里	5	15	25.0%
福島北	12	20	37.5%	猪苗代	4	16	20.0%
桑折	10	10	50.0%	喜多方	7	13	35.0%
伊達	9	11	45.0%	会津坂下	12	8	60.0%
二本松	10	20	33.3%	南会津	15	5	75.0%
本宮	4	16	20.0%	会津(小計)	54	96	36.0%
県北(小計)	66	126	34.4%	いわき中央	8	42	16.0%
郡山	15	35	30.0%	常磐	5	20	20.0%
郡山北	12	18	40.0%	いわき東	10	20	33.3%
須賀川	12	20	37.5%	いわき南	14	16	46.7%
石川	8	12	40.0%	いわき(小計)	37	98	27.4%
田村	14	16	46.7%	南相馬	8	22	26.7%
小野	7	13	35.0%	双葉	17	3	85.0%
県中(小計)	68	114	37.4%	浪江	9	15	37.5%
棚倉	16	5	76.2%	相馬	5	15	25.0%
白河	7	23	23.3%	相双(小計)	39	55	41.5%
県南(小計)	23	28	45.1%	全体	287	517	35.7%

(6) 着用していた反射材の種類

- 反射材用品等を使用 287人中201人
(複数着用者21人、着用総個数223個、延べ人数223人)
- 反射材組込用品を使用 287人中103人
(複数着用者4人、着用総個数107個、延べ人数107人)
- 双方を同時に使用 287人中17人

ア 反射材用品等

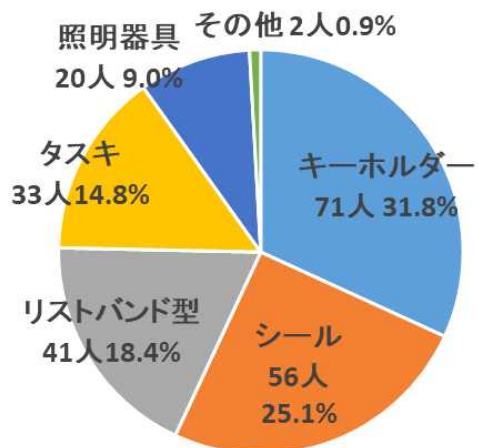
(着用者201人、内複数着用者21人、着用総個数223個、延べ人数223人)

○ 反射材用品等の内訳 (延べ人数223人)

- ・ キーホルダー 71人
- ・ シール 56人
- ・ リストバンド型 41人
- ・ タスキ 33人
- ・ 照明器具 20人
- ・ その他 2人

※ その他の内訳

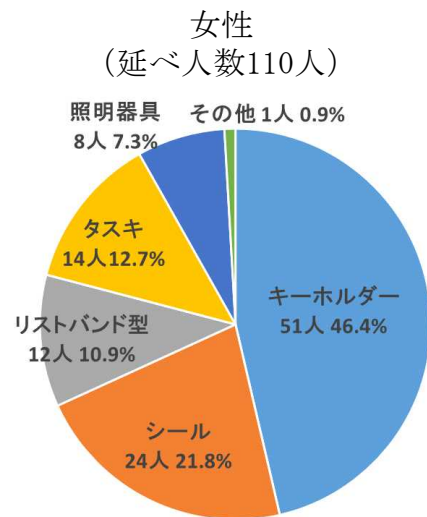
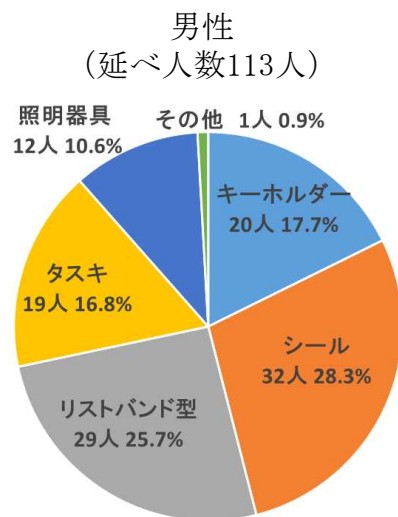
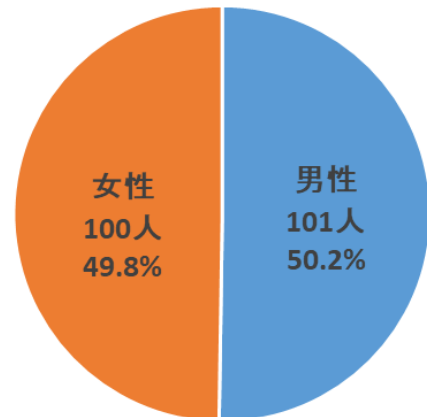
- ・ サイクルリフレクター 1人
- ・ ベルト 1人



○ 反射材用品等の種類別・男女別

種類	男性	女性	計
キーホルダー	20	51	71
シール	32	24	56
リストバンド型	29	12	41
タスキ	19	14	33
照明器具	12	8	20
その他	1	1	2
計	113	110	223

着用者201人（実人数）



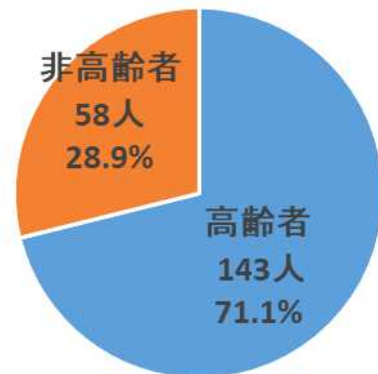
※ 特徴

男性はシールが最も多く、女性はキーホルダーが多い。

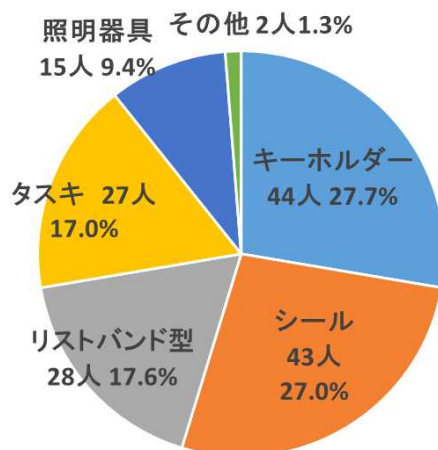
- 反射材用品等の種類別・高齢者非高齢者別
 （着用者201人、複数着用者あり、着用総個数223個、延べ人数223人）

反射材用品	高齢者	非高齢者	計
キーホルダー	44	27	71
シール	43	13	56
リストバンド型	28	13	41
タスキ	27	6	33
照明器具	15	5	20
その他	2	0	2
計	159	64	223

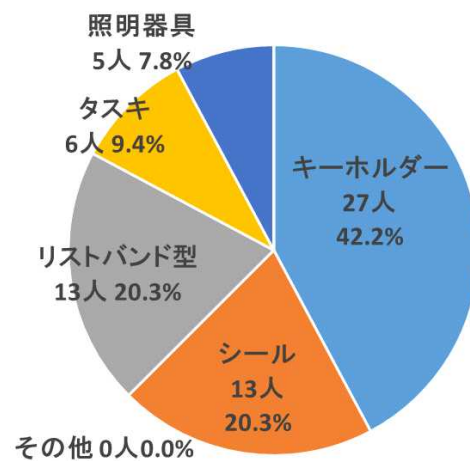
着用者201人（実人数）



高年齢者
 （延べ人数159人）



非高年齢者
 （延べ人数64人）



※ 特徴

高年齢者はキーホルダー・シールが多く、非高年齢者はキーホルダーが多い。

イ 反射材組込用品

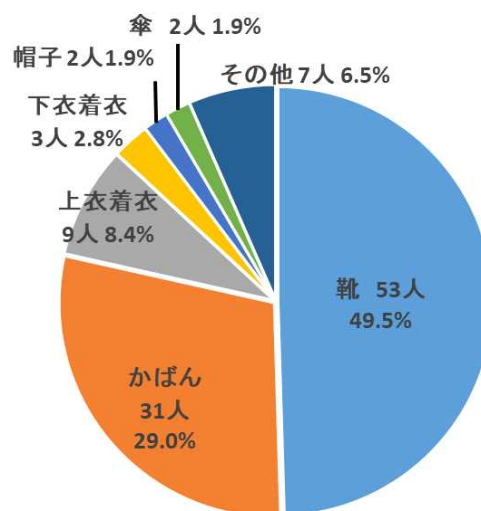
(着用者103人、内複数着用者 4 人、着用総個数107個、延べ人数107人)

○ 反射材組込用品の内訳 (延べ人数107人)

- ・ 靴 53人
- ・ かばん 31人
- ・ 上衣着衣 9人
- ・ 下衣着衣帽子 3人
- ・ 帽子 2人
- ・ 傘 2人
- ・ その他 7人

※ その他内訳

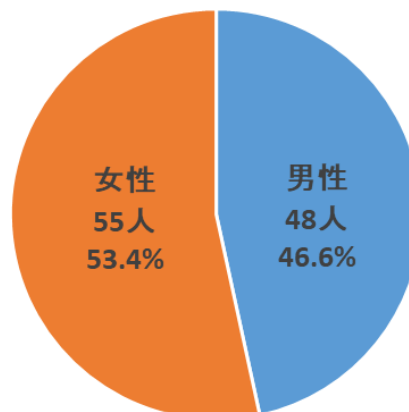
- ・ 杖 3人
- ・ ペット用品 3人
- ・ 手押し車 1人



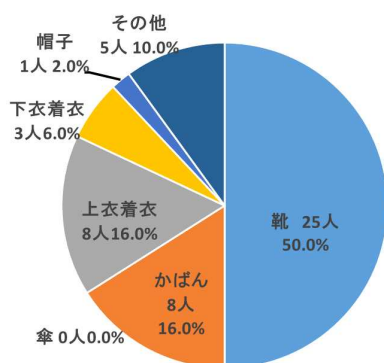
○ 反射材組込用品の種類別・男女別

反射材組込用品	男	女	計
靴	25	28	53
かばん	8	23	31
上衣着衣	8	1	9
下衣着衣	3	0	3
帽子	1	1	2
傘	0	2	2
その他	5	2	7
計	50	57	107

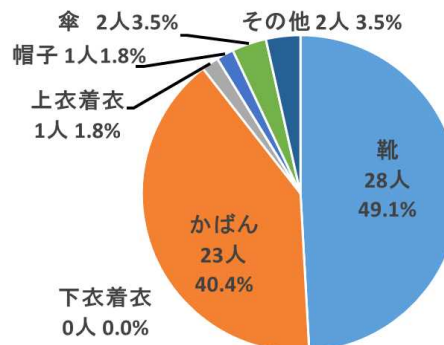
着用者103人 (実人数)



男性
(延べ人数50人)



女性
(延べ人数57人)



※ 特徴

男女とも靴が最も多い。

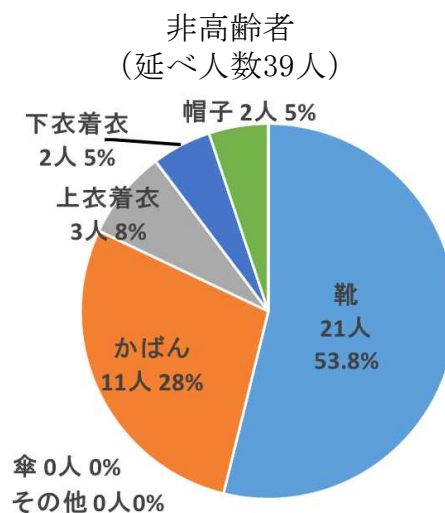
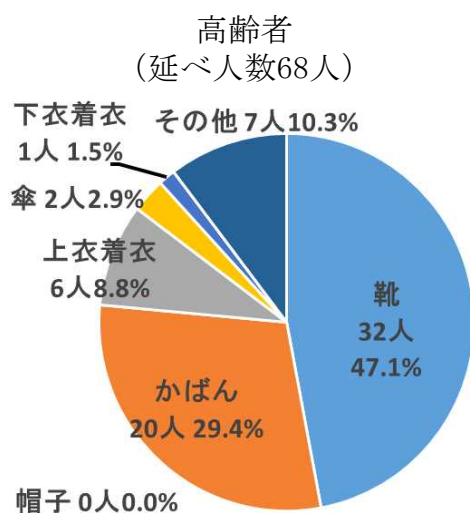
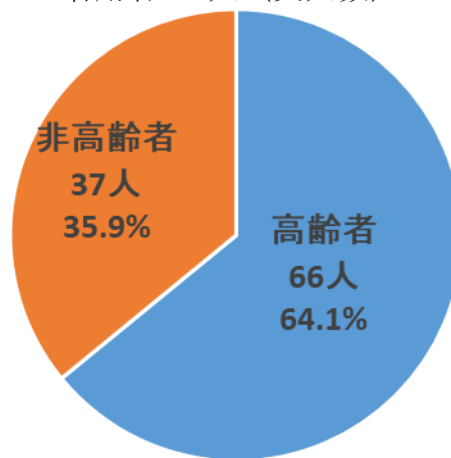
次いで男性はかばん・上衣着衣、女性はかばんが多い。

○ 反射材組込用品の種類別・高齢非高齢別

(着用者103人、複数着用者あり、着用総個数107個、延べ人数107人)

反射材組込用品	高齢者	非高齢者	計
靴	32	21	53
かばん	20	11	31
上衣着衣	6	3	9
傘	2	0	2
下衣着衣	1	2	3
帽子	0	2	2
その他	7	0	7
計	68	39	107

着用者103人（実人数）



※ 特徴

高齢者・非高齢者とも靴が最も多い。

※ 統計の割合については四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。